

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード

(心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

60%の可能性を基準とする (松下 幸之助)

1. 社員の長所だけを見て、どんどん仕事を任せることが人を育てると、松下幸之助は考えた。社員が自分の考えを余すことなく出せる空気を醸成すれば、「会社の経営は難しくない」とまで言い切っている。ただ、「ある仕事をある人にしてもらおう場合、その人が適任かどうかということが極めて重要だが、実際にはなかなか分からない」と素直に明かしている。
2. そこで、幸之助は「60%の可能性」を基準にした。「この人だったら、60%くらいはいけそうだなと思ったら、もう適任者として決めてしまう。80%の人を求めることも可能ではないだろうが、それには非常に時間と手間がかかる。だから、60%くらいは大丈夫だなと思ったら、“君大いにやってくれ”とする。すると大抵はうまくいく」。
3. 任せるうえで最も肝心なことは、任せた後の経営者のあり方だとする。部下の仕事が行き詰まったとき、「いいもの作れと尻をたたいたり、しかるのはいけない。経営者がきちんと指示すること」と、幸之助は戒めた。経営者には「こうしたらうまくいく」と、その解決法がよく見えるはずだから、「君が悩んでいることはある人に聞けば分かるぞ」と、具体的に指示するのが必要だという。

(参考:「日経ベンチャー」2008年3月号)

経営者のための経済学

米国の悪影響がこれから波及する

1. 昨年より日本経済が減速局面入りした最大の原因は、改正建築基準法の影響による住宅投資の落ち込みでも、クレジットバブル崩壊による米経済減速の影響でもない。最大の原因は、ゼロインフレ予想の強いなかで原油高などのコスト増を価格に転嫁できず、中堅・中小企業を中心に業績が悪化していることだ。
2. ここにきて、一部企業が倒産回避のため、値上げに踏み切っている。賃金回復が遅れるなかでの値上げは、家計の実質購買力を低下させ、消費を抑制する。昨年末から消費者心理は急激に悪化し、消費が落ち込むリスクが出てきた。コスト増の悪影響がついに家計部門に波及し始めた。米国では、クレジットバブル崩壊による銀行の自己資本劣化が引き起こす貸し渋りが生じており、景気後退は不可避と見られる。その悪影響が日本経済に波及するのはこれからである。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2008年2月9日号)

海外事情

新卒 100 万人が仕事を見つけられず

1. 中国教育部(文部科学省に相当)は、2008年の大学生募集計画を公表した。4年制大学が300万人、3年制の高等職業教育が299万人で総数で599万人だ。2007年の募集人数より5%増えた。中国では2007年の4年制大学卒業生のうち、全体の3割に当たる100万人ほどが仕事を見つけられずにいる。新卒者の供給が増え続ける一方で、就職状況が変わらなければ毎年大量の卒業生が路頭に迷うという状況が続くことになる。
2. 中国のさまざま職場、特に出稼ぎ労働者がするような単純労働では人手不足が顕在化しているが、当然ながら大学卒業生はそうした仕事はしたくない。限られたホワイトカラーの就職口をめぐる争奪戦は厳しくなる一方だ。こうした状況について、「空論ばかり教えているから、学生が社会に出て使えないものにならないんだ」などと、中国の大学教育を厳しく批判する声も聞かれる。

(参考:「週刊東洋経済」2008年2月2日号)

古典に学ぶ

敬を誤ると

「敬を誤り認め一物を做し、胸中に放任すること勿れ。但だに聡明を生ぜざるのみならず、かえって聡明をふさがん。即ち是れ累なり」

(訳) 敬を誤って認め一つの物として、胸の中に放っておいてはならない。賢明な働きを現わさないだけでなく、賢明をふさいでしまう。即ち敬を誤ると悪結果を招くおそれがある。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)